

## 2024年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：工業専門課程

学科：情報処理科/システム運用コース

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	Java文法 I	1	30	2	必修	講義	無
2	Java文法 II	1	30	2	必修	講義	無
3	Java演習 I	1	60	4	必修	実習	無
4	Java演習 II	1	60	4	必修	実習	無
5	ホームページ	1	60	4	必修	実習	有
6	セキュリティ I	1	30	2	必修	講義	無
7	ハードウェア I	1	30	2	必修	講義	無
8	ハードウェア II	1	30	2	必修	講義	無
9	ソフトウェア	1	30	2	必修	講義	有
10	アルゴリズム I	1	30	2	必修	講義	無
11	アルゴリズム II	1	30	2	必修	講義	無
12	ネットワーク I	1	30	2	必修	講義	無
13	ネットワーク II	1	30	2	必修	講義	無
14	データベース	1	30	2	必修	講義	有
15	PC/OS基礎	1	30	2	選択	講義	無
16	文書編集基礎(word)	1	30	2	必修	実習	無
17	表計算基礎	1	30	2	必修	実習	無
18	Office実務 I	1	60	4	必修	実習	有
19	経営	1	30	2	必修	講義	有
20	資格対策	1	30	2	必修	講義	有
21	基本情報対策 I	1	60	4	必修	講義	無
22	基本情報科目A対策	1	30	2	必修	講義	有
23	基本情報科目B対策	1	30	2	必修	講義	無
24	ITパスポート対策 I	1	30	2	必修	講義	無
25	セキュリティマネジメント対策 I	1	30	2	選択	講義	無
26	セキュリティマネジメント対策 II	1	30	2	選択	講義	無
27	MOS対策 I	1	15	1	選択	実習	無
28	MOS対策 II	1	15	1	選択	実習	無
29	基礎学力 I	1	30	2	必修	講義	無
30	基礎学力 II	1	30	2	選択	講義	無
31	基礎英語 I	1	30	2	必修	講義	有

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
32	就職対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
33	就職対策Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
34	ビジネスマナー	1	30	2	必修	講義	有
35	ビジネス検定対策	1	30	2	必修	講義	有
36	体育実習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	Java文法 I		成田与志子	無	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Javaの文法の基礎を理解する。クラス、インスタンス（オブジェクト）について、理解する。オブジェクト指向言語の考え方を身につけ、手続き型との違いを理解する。処理の流れを理解し、プログラムを作成する能力を養う。よく使われるアルゴリズムを学ぶ。プログラムをトレースできる。

## 【講義概要】

Java言語の文法を説明する。

回	授業計画及び学習の内容
1	宣言、データ型、main()、出力( System.out.println() )、整数型変数、四則演算を使った計算
2	復習。合計
3	くり返し処理の構造。for() を使ったプログラムの構造。
4	入力、for()でくり返し、インクリメント、デクリメント演算子(++、--)。Scannerクラス。実数型。
5	処理を分岐する。条件の書き方、if()～ else 文の書き方。実数型double。データの型変換。
6	中間試験対策。トレースの練習。
7	for, if の復習。文字型の扱い。cast演算子。無限ループと終了判定。break。数値配列。
8	整数型配列の定義、使い方。配列オーバーの危険性と、その対応について。合計、平均、最大、最小。
9	数値配列の初期化。いろいろな演算子の使い方と演算子の強さ。定数 final。
10	無限ループ。Stringクラスのメソッドのいろいろ。
11	while()文とfor()の使い分け。switch-case文の使い方、処理の流れ。
12	クラスメソッドの作成。戻り値、引数について。メソッドの呼び出し。引数の値渡し。void
13	クラスメソッドの復習
14	期末試験対策
15	まとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

java入門 impress

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ	成田与志子	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

java言語の文法の基礎を理解する。特にクラス、インスタンス（オブジェクト）について、理解する。オブジェクト指向言語の考え方を身につけ、手続き型との違いを理解する。処理の流れを理解し、プログラムを作成する能力を養う。よく使われるアルゴリズムを学ぶ。

## 【講義概要】

オブジェクト指向を意識して、プログラミングを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	復習。くり返しとScannerクラスで入力
2	復習。合計、数値配列。
3	メソッドについて。引数、戻り値。呼出の書き方。
4	クラスの作成。コンストラクタ、フィールド、メソッドなどの書き方。
5	クラスの作成。
6	中間試験対策
7	メソッドやコンストラクタのオーバーロードについて。
8	ファイルからデータを読み込む。
9	例外処理について。try - catch。 Stringクラスのsplit()メソッドについて
10	クラスの継承。コンストラクタの書き方。メソッドのオーバーロード、オーバーライドについて。
11	JFrame の仕組みについて
12	JButton の使い方。イベントについて。リスナー
13	レイアウトマネージャ。各レイアウトの確認
14	まとめ
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	0%	0%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

java入門 impress

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習 I		成田与志子	無	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Javaの文法を演習を通して学習する。プログラムの流れを理解し、必要な修正をすることができる。また、よく使われるアルゴリズムを学ぶ。プログラム作成を経験する。エラーの意味を理解し、デバックできる。プログラムの完成までやり遂げる。コンピュータの操作に慣れる。

## 【講義概要】

Java言語のプログラムを理解させる。

回	授業計画及び学習の内容
1	宣言、データ型、main()、出力( System.out.println() )、整数型変数、四則演算を使った計算
2	復習。合計
3	くり返し処理の構造。for() を使ったプログラムの構造。
4	入力、for()でくり返し、インクリメント、デクリメント演算子(++、--)。Scannerクラス。実数型。
5	処理を分岐する。条件の書き方、if()～ else 文の書き方。実数型double。データの型変換。
6	中間試験対策。トレースの練習。
7	for, if の復習。文字型の扱い。cast演算子。無限ループと終了判定。break。数値配列。
8	整数型配列の定義、使い方。配列オーバーの危険性と、その対応について。合計、平均、最大、最小。
9	数値配列の初期化。いろいろな演算子の使い方と演算子の強さ。定数 final。
10	無限ループ。Stringクラスのメソッドのいろいろ。
11	white()文とfor()の使い分け。switch-case文の使い方、処理の流れ。
12	クラスメソッドの作成。戻り値、引数について。メソッドの呼び出し。引数の値渡し。void
13	クラスメソッドの復習
14	期末試験対策
15	まとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
  - ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

java入門 impress

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ		成田与志子	無	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
java言語の文法の基礎を理解する。特にクラス、インスタンス（オブジェクト）について、理解する。オブジェクト指向言語の考え方を身につけ、手続き型との違いを理解する。処理の流れを理解し、プログラムを作成する能力を養う。よく使われるアルゴリズムを学ぶ。							
【講義概要】							
オブジェクト指向を意識して、プログラミングを行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	復習。くり返しとScannerクラスで入力						
2	復習。合計、数値配列。						
3	メソッドについて。引数、戻り値。呼出の書き方。						
4	クラスの作成。コンストラクタ、フィールド、メソッドなどの書き方。						
5	クラスの作成。						
6	中間試験対策						
7	メソッドやコンストラクタのオーバーロードについて。						
8	ファイルからデータを読み込む。						
9	例外処理について。try ~ catch。 Stringクラスのsplit()メソッドについて						
10	クラスの継承。コンストラクタの書き方。メソッドのオーバーロード、オーバーライドについて。						
11	JFrame の仕組みについて						
12	JButton の使い方。イベントについて。リスナー						
13	レイアウトマネージャ。各レイアウトの確認						
14	期末試験対策						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%	0%	0%	20%		100%	
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】							
実務経験なし							
【教科書・参考文献】							
java入門 impress							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024	1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	ホームページ	榎本博文	有	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブサイトやウェブシステムの基本技術であるHTML・CSSの基礎を学び、複数ページあるウェブサイトを完成させることを目標とする。

## 【講義概要】

ウェブサイト制作のための環境構築から、HTML・CSSの基本から応用を学んでいく。各技術の学習だけでなく、ウェブページを作成することを意識しながら学習していく。夏季休暇中に課題レポートをおこなう。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	ウェブサイト制作のための環境構築、エディタの使い方、HTMLの基礎
2	HTMLの基礎、見出し、段落、リスト、グループ化
3	テーブルについて、リンクと画像の挿入
4	CSSの基礎、CSSファイルの読み込み
5	CSSの基礎、CSSファイルの読み込み、各スタイルの設定
6	ボックスモデル、背景画像の設定
7	小テスト1
8	フレックスについて
9	2ページ目とグリッドレイアウト1
10	2ページ目とグリッドレイアウト2
11	サイトの公開とFTPツールについて、小テスト2
12	自己紹介サイト制作1
13	自己紹介サイト制作2、プレゼン
14	課題レポート
15	課題ウェブサイト制作

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

## 【教科書・参考文献】

スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版、狩野 祐東 (著)、SBクリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	セキュリティ I	井元和彦	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティの概念、セキュリティ管理、脅威、攻撃手法、リスク分析、暗号技術、公開鍵基盤、さまざまなセキュリティ技術の基本を知る。

## 【講義概要】

各回のテーマについて解説を行った後、問題演習を行う。セキュリティはそれ単独では成り立たない。ネットワークなどの他のコンピュータ技術についても理解を深めてほしい。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティの概念
2	情報セキュリティ管理
3	情報セキュリティ諸規程、ISMS、情報セキュリティ組織・機関、セキュリティ評価基準
4	脅威、攻撃手法 その1
5	脅威、攻撃手法 その2
6	共通鍵暗号方式
7	中間試験
8	公開鍵暗号方式、ハイブリッド暗号方式
9	利用者認証、メッセージ認証
10	電子署名
11	デジタル証明書、認証局
12	人的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策
13	技術的セキュリティ対策
14	セキュリティ実装技術
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

ITワールド (インフォテックサーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ハードウェア I	井元 和彦	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。

## 【講義概要】

コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／基数変換その1
2	基数変換その2
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数
4	負数の表現／シフト演算
5	浮動小数点数、誤差
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置
7	中間試験
8	アドレス指定方式、BCD
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形
11	フリップフロップ、ビット演算
12	高速化技術（メモリの高速化、プロセッサの高速化）
13	補助記憶装置（HDD、SSD）
14	入出力装置
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ハードウェアⅡ	井元 和彦	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。

## 【講義概要】

コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／基数変換その1
2	基数変換その2
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数
4	負数の表現／シフト演算
5	浮動小数点数、誤差
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置
7	中間試験
8	アドレス指定方式、BCD
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形
11	フリップフロップ、ビット演算
12	高速化技術（メモリの高速化、プロセッサの高速化）
13	補助記憶装置（HDD、SSD）
14	入出力装置
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ソフトウェア	高嶋 知由	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。

## 【講義概要】

テキストでの講義の他、毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報処理システムの処理形態
2	様々なシステム
3	高信頼化システムの構成
4	処理能力の評価、性能測定の技法
5	信頼性の評価☒
6	ヒューマンインタフェース☒
7	中間試験☒
8	マルチメディア
9	基本ソフトウェア ジョブ管理
10	基本ソフトウェア タスク管理
11	基本ソフトウェア 記憶管理
12	プログラム言語と言語プロセッサ
13	ファイル、ディレクトリ、バックアップ
14	まとめ問題演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

会計事務所にて税務会計および中小企業のIT化コンサルタントを担当  
大学などで情報処理技術者試験などの資格講座講師

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問題

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	アルゴリズム I		安藤 真理	無	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムの基礎を習得し、フローチャートや擬似言語の作成、およびそれらからのトレース作業の習得ができるようにする。

## 【講義概要】

アルゴリズムの基礎・基本を学習し、フローチャートや擬似言語を作成しつつ、それらからのトレースの実践を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは フローチャートの基礎
2	変数について
3	比較分岐①
4	比較分岐②
5	繰り返し処理①
6	繰り返し処理②
7	中間試験対策
8	1次元配列
9	2次元配列
10	配列の探索①
11	配列の探索②
12	データの挿入・削除
13	ソート①
14	ソート②
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	アルゴリズムⅡ	安藤 真理	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムの基礎を習得し、フローチャートや擬似言語の作成、およびそれらからのトレース作業の習得ができるようにする。

## 【講義概要】

アルゴリズムの基礎・基本を学習し、フローチャートや擬似言語を作成しつつ、それらからのトレースの実践を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは フローチャートの基礎
2	変数について
3	比較分岐①
4	比較分岐②
5	繰り返し処理①
6	繰り返し処理②
7	中間試験対策
8	1次元配列
9	2次元配列
10	配列の探索①
11	配列の探索②
12	データの挿入・削除
13	ソート①
14	ソート②
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ネットワーク I	石川 章	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・通信回線の基礎技術からイーサネット技術までを習得する。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識を習得する。

## 【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ネットワークの歴史と基礎知識
2	ネットワークの種類1：ネットワークの分類、電話網
3	ネットワークの種類2：パケット交換網、携帯電話網
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATV
5	データ伝送の実際：文字データ形式、伝送方式、誤り制御
6	前半の補足と復習
7	中間試験
8	通信回線の計算：伝送時間及び回線速度の算出
9	アナログーデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出
10	マルチメディア：静止画、動画、音声の各ファイル形式、圧縮技術
11	イーサネット1：イーサネットによるデータ伝送方法
12	イーサネット2：イーサネット用通信機器
13	通信プロトコルとOSI参照モデル
14	後半の補足と復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		30%			100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワークⅡ	石川 章	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・インターネット及びネットワークセキュリティ技術の習得。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識の習得。

## 【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	IPアドレス
2	TCP/IP (1)
3	TCP/IP (2)
4	サーバ (1)
5	サーバ (2)
6	通信回線の計算・認証
7	前半の復習と補足
8	中間試験
9	インターネット関連技術
10	暗号
11	セキュリティ技術・ファイアウォール
12	マルウェア・サイバー攻撃
13	無線LAN・IPv6
14	後半の復習と補足
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	70%		30%			100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	データベース	高嶋知由	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

データベースとは、DBMSについて  
関係データベースの設計、DBの操作、SQLの習得

## 【講義概要】

テキストによる講義の他、毎回小テストを行い理解度を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベースとは 関係データベースの特徴
2	DBMS 排他制御、障害回復処理
3	表の定義 正規化
4	SQL CREATE文
5	SQL SELECT文 * DISTINCT
6	SQL SELECT文 WHERE 条件指定
7	中間試験
8	SQL SELECT文 集合関数 GROUP BY ORDER BY
9	SQL SELECT文 表の結合
10	SQL SELECT文 副問合せ
11	SQL SELECT文 相関問合せ
12	SQL その他のSQL文 JOIN GRANT
13	SQL 総合問題演習
14	DB 総合問題演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

会計事務所にて税務会計および中小企業のIT化コンサルタントを担当  
大学などで情報処理技術者試験などの資格講座講師

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 選択	講義	PC/OS基礎	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ICTを体系的に学ぶことができる「CompTIA IT Fundamentals」をベースとし、この認定資格の取得、あるいは同等のICT基礎知識と主に、PCやその周辺機器に関するスキルを身につける。

## 【講義概要】

これからICTエンジニアを目指す方々に必要なコンピュータの基礎知識を講義と実習形式で体系的にお伝えすると共に、実経験に基づいた実践力や考え方、ノウハウ、最新の技術情報等も交えて学習していく。復習としてラボによる実習と、E-Learningによる知識の定着を図る。また、実際にその技術が活用されるイメージいただくための補足も加える。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション・ICTの概要を学習
2	オペレーティングシステムの概要の学習
3	ソフトウェアの学習（ソフトウェアプログラムの基礎、アプリケーションソフトウェア
4	ソフトウェアの学習（ソフトウェアプログラムの基礎、アプリケーションソフトウェア
5	プログラミングとアプリ開発の学習
6	データベースの学習（データベースの概要、RDBMSを中心とした解説
7	中間試験
8	ハードウェアの学習、コンピュータ内部（CPU、メモリー、ストレージ、ネットワーク）
9	ハードウェアの学習、コンピュータ内部（CPU、メモリー、ストレージ、ネットワーク）
10	ハードウェアの学習、デバイスインタフェース、ファイルシステム
11	ネットワークの学習、トポロジー、IPアドレスの世界、ネットワーク接続
12	ネットワークの学習、共有ストレージ、モバイルデバイス
13	セキュリティの概要、ベストプラクティスの実践
14	セキュリティのアクセス制御について他、人間の行動に関するセキュリティの懸念
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	文書編集基礎 (word)	藤田恵子	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ひらがなカタカナ漢字記号・特殊記号文字全般を入力できること、社内文書作成、社外案内文書、表作成、箇条書き、段落の設定や複数ページアウトライン管理、図形や画像の挿入編集、差し込み印刷、はがき、名刺作成などビジネスの日常業務に必要な技能を課題作成しながら身につける。

## 【講義概要】

毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、A4紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しA評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語入力、文章入力のこつ、特殊文字記号、スペース、改行、改ページ、印刷方法、データ保存方法、WORD基本機能
2	文字の書式（太字、下線、文字種類サイズ、横幅拡大%）段落、インデント、タブ設定、タブの使い方、ページ設定
3	段落の書式、行間、ページ当たり文字数、均等割付け、コピー貼り付け、文字の移動、文字や長文の入力練習
4	社内文書作成（定例会議お知らせ、社員研修会案内、忘年会案内）社外文書作成（新社屋移転案内）ぶら下げインデント
5	段落、ルーラー表示、タブ設定、ぶら下げインデント、右インデントの活用、社外文書作成2 切り取り線つくる
6	画像の挿入・編集・移動・サイズ変更・位置・トリミング、ページ番号、ヘッダ・フッタの活用、社外文書作成3
7	表作成、罫線の編集、セル結合、セル内の入力編集、表の移動・配置、住所〒番号から住所表示の方法
8	表作成応用、表の中に画像挿入、列幅変更、行や列の挿入と削除、表の作成、表のコピー
9	表の中に表を作る、罫線の太さ、表の中でSUM計算機能 箇条書きの基本、行頭文字変更、スタイル登録と適用
10	箇条書きの応用、スタイル登録と適用、アウトラインの活用、段組、アウトラインによる複数ページの見出しナビ機能
11	EXCELグラフや表をWORDにリンク貼り付け、テキストボックスの作成、編集、活用
12	差し込み印刷、はがき印刷（宛名面、うら面）、ワードアートと特殊文字、図形のグループ化
13	PDFに変換、WEBに変換、アウトライン、POP広告ポスター作製、400字紙印刷ほか、検定問題練習
14	まとめと復習1
15	まとめと復習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

実教出版WORD30時間、無限大WORD、MOS試験対策本、日商文書作成検定2級試験問題、

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	実習	表計算基礎		安藤 真理	無	2単位	30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

officeソフトの一つであるExcelの基本操作を学習する。  
また後期には応用的、実践的な使用をするので、そのために必要な力を身に着ける。

## 【講義概要】

Excelの基本的な使用方法と関数の必要性などを理解し、表やグラフなどを作成する。作成する際には見やすさ、わかりやすさなどを意識したものにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelについて 基本的な使用方法
2	入力について 簡単な式、オートフィル
3	ワークシートの使用方法
4	関数(SUM, AVERAGE, MAX, MIN, COUNT, ROUND)
5	IF関数とネスト
6	条件付き書式
7	グラフ①
8	グラフ②
9	グラフ③
10	データベース関数
11	テーブル、ピボットテーブル
12	文字列操作
13	検索するための関数
14	まとめ 提出状況の確認
15	まとめ 課題の最終確認

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)  
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

## 【教科書・参考文献】

30時間でマスター Excel2019 (織田良次 実教出版)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	実習	Office実務 I		佐藤 薫	有	4単位 60時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・ ExcelとWordの機能を実習し、実務に役立つビジネス文書作成の能力を身に付ける。
- ・ Excelは、データベース機能、応用関数、集計、ピボットテーブル、マクロの基礎を学習する。
- ・ Wordは、定型のビジネス文書、表、図、画像の処理、長文作成に役立つ機能を学習する。

## 【講義概要】

前半はExcelで各テーマの課題を2~3問ほど作成する(教科書使用)。後半はWordでビジネスに役立つ機能を使用した文書を2~3問作成する(プリントまたはPDFを配布)。機能の概要と文書の目的を理解して課題を仕上げよう。必須課題は必ず提出すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベース機能(並べ替え、抽出) / 基本の書式設定、文字位置を揃える機能(インデント、タブ)
2	テーブル機能(データの整理、分析) / ビジネス文書の基礎知識、印刷設定
3	データの自動集計 / レポート作成の機能(段落罫線、段落前後の間隔、ヘッダーとフッター)
4	ピボットテーブルとピボットグラフ / 罫線を使った文書、表の活用
5	統計関数(RANK.EQ、LARGE、SMALL) / 文書のレイアウト機能(セクション、段組み)
6	検索/行列関数(VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX) / 図形の応用、画像処理
7	文字列操作関数(LEFT、RIGHT、LEN、MID、CONCAT) / 表、画像、図形を使った文書作成
8	入力規則の設定 / 情報の図解化(SmartArt、ワードアート、テキストボックス)
9	条件付き集計の関数(COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF) / 総合練習問題
10	シート間の計算(3-D集計、統合) / ページの背景を設定する機能(透かし、ページ罫線、ページの色)
11	グラフの応用(複合グラフ、補助円付きグラフ) / 長文に役立つ機能-1(検索と置換、ページ番号、ヘッダー、フッター)
12	アプリケーション間のデータ利用 / 長文に役立つ機能-2(アウトライン、スタイル、目次)
13	作業の自動化(マクロの自動記録、ボタンにマクロを割り付ける、VBAの基礎知識)
14	まとめ
15	まとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足)

- ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOSやOffice関連の書籍の執筆も担当。

## 【教科書・参考文献】

30時間でマスター Excel2019 (実教出版)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	経営	古郡 聡	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。

## 【講義概要】

毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す

回	授業計画及び学習の内容
1	企業活動の目的
2	企業会計
3	オペレーションズリサーチ(1)
4	オペレーションズリサーチ(2)
5	経営工学・品質管理
6	法務と標準化
7	中間試験
8	経営戦略マネジメント(1)
9	経営戦略マネジメント(2)
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ
11	e-ビジネス
12	情報システム戦略
13	情報システム企画
14	開発技術
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム開発業務に従事

## 【教科書・参考文献】

IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	資格対策	坂東 佑一	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

(授業前半)受講者全員が、情報検定(J検)情報活用試験3級に合格することを目指す。  
(授業後半)1年生前期の間に、ITパスポート試験に合格することを目指す。

## 【講義概要】

授業前半では、J検の中で最も易しい3級の過去問演習を行い、情報系分野の基礎知識を習得する。なお、過去2年連続で受講者全員が合格している。授業後半では、国家資格であるITパスポート試験の過去問演習を行い、合格を目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	J検過去問演習
2	J検過去問演習
3	J検過去問演習
4	J検過去問演習
5	J検過去問演習
6	J検過去問演習
7	中間試験
8	ITパスポート過去問演習
9	ITパスポート過去問演習
10	ITパスポート過去問演習
11	ITパスポート過去問演習
12	ITパスポート過去問演習
13	ITパスポート過去問演習
14	ITパスポート過去問演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	100%					100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士)  
NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て、2020年2月～現職

## 【教科書・参考文献】

教科書：令和06年 イメージ&クレーバー方式でよくわかる かやのき先生のITパスポート教室  
過去問はこちらで配布する

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策 I	安藤 真理	無	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、過去問などを学習する。

## 【講義概要】

基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	基本情報技術者試験とは 過去問対策の説明
2	テクノロジー① 過去問練習
3	テクノロジー② 過去問練習
4	テクノロジー③ 過去問練習
5	マネジメント 過去問練習
6	ストラテジ 過去問練習
7	中間試験対策
8	アルゴリズム① 過去問練習
9	アルゴリズム② 過去問練習
10	アルゴリズム③ 過去問練習
11	アルゴリズム④ 過去問練習
12	セキュリティ① 過去問練習
13	セキュリティ② 過去問練習
14	試験を受験する際の注意について
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策	松田 将典	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

前期で学習した知識を活用・復習し、基本情報技術者試験のA科目問題対策を行う。

## 【講義概要】

過去問題を使用し解き方を解説する。よく出る問題や傾向についても解説する。

回	授業計画及び学習の内容
1	試験概要解説、過去問実施（公開問題）
2	過去問解説（公開問題）、過去問実施（サンプル問題）
3	過去問解説（サンプル問題）、過去問実施（サンプル問題）
4	過去問解説（サンプル問題）、過去問実施（免除試験問題）
5	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
6	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）、テスト対策
7	中間テスト
8	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
9	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
10	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
11	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
12	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
13	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
14	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）、テスト対策
15	期末テスト

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

金融系Sierでシステム開発を経験

## 【教科書・参考文献】

IPA 基本情報技術者試験 公開問題、サンプル問題、免除試験問題

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報科目B対策	安藤 真理	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。

## 【講義概要】

基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習
2	擬似言語 分岐と繰り返し
3	配列、再帰
4	二次元配列
5	探索
6	中間試験対策
7	中間試験解説
8	リスト①
9	リスト②
10	木構造、ハッシュ表
11	整列①
12	整列②
13	文字列処理
14	期末試験対策
15	期末試験解説

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

## 【教科書・参考文献】

基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版) (大原出版)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ITパスポート対策 I	成田与志子	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする

## 【講義概要】

ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語 記述の規則
2	疑似言語 プログラムの読み方
3	マネジメント 開発技術。 過去問練習
4	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習
5	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習
6	ITパスポート 令和6年過去問題の解説
7	中間試験対策
8	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習
9	テクノロジー 技術要素。 過去問練習
10	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習
11	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習
12	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習
13	ストラテジ システム戦略。 過去問練習
14	ITパスポート 令和5年過去問題の解説
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%		20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

令和6年度春期 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 選択	講義	セキュリティマネジメント対策 I	外部企業より派遣	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。  
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

## 【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。  
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	① 「情報セキュリティマネジメント試験の概要」
3	・ 出題傾向と学習方法
4	② 「情報セキュリティ全般」
5	・ 情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手/不正利用
6	③ 「情報セキュリティ全般」
7	・ Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害/悪用、人的脅威/物理的脅威/その他の脅威
8	④ 「情報セキュリティ全般」
9	・ 暗号化技術/認証技術、デジタル署名
10	⑤ 「情報セキュリティ対策」
11	・ マルウェア対策、不正アクセス対策
12	⑥ 「情報セキュリティ対策」
13	・ ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
14	⑦ 「情報セキュリティ管理」
15	・ 情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
	⑧ 「情報セキュリティ管理」
	・ 情報セキュリティインシデント管理
	⑨ 「情報セキュリティ関連法規」
	・ 情報セキュリティ関連法規

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合				100%		100%

(補足)

- ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

情報セキュリティマネジメント対策(インフォテックサーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅱ		外部企業より派遣	無	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。  
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

## 【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。  
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。  
Iと同じ内容だが、I受講者で資格未取得者は再度受講ができる。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	①「情報セキュリティマネジメント試験の概要」
3	・出題傾向と学習方法
4	②「情報セキュリティ全般」
5	・情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手/不正利用
6	③「情報セキュリティ全般」
7	・Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害/悪用、人的脅威/物理的脅威/その他の脅威
8	④「情報セキュリティ全般」
9	・暗号化技術/認証技術、デジタル署名
10	⑤「情報セキュリティ対策」
11	・マルウェア対策、不正アクセス対策
12	⑥「情報セキュリティ対策」
13	・ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
14	⑦「情報セキュリティ管理」
15	・情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
	⑧「情報セキュリティ管理」
	・情報セキュリティインシデント管理
	⑨「情報セキュリティ関連法規」
	・情報セキュリティ関連法規

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合				100%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】

情報セキュリティマネジメント対策(インフォテックサーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 選択	実習	MOS対策I	砂賀 勝己	無	1単位 15時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフトMOS資格の対策講座。  
原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。

## 【講義概要】

模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	情報処理科/システム運用コース	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 選択	実習	MOS対策Ⅱ	砂賀 勝己	無	1単位 15時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフトMOS資格の対策講座。  
原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。

## 【講義概要】

模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力 I	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける
- ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

## 【講義概要】

- ①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題 (100マス計算など)
2	計算問題 (分数・小数・混合) SPI対策問題
3	計算問題 (分数・小数・混合四則演算・法則性) SPI対策問題
4	計算問題 (分数・小数・混合四則演算・法則性) 日本語の基礎知識 (漢字の読み書き)
5	日本語の基礎知識 (漢字の読み書き・四字熟語) SPI対策問題
6	日本語の基礎知識 (四字熟語) SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題 (角度)
9	図形問題 (面積) 計算問題 (暗算)
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題 (つるかめ算) 日本語の基礎知識 (漢字の読み書き)
13	方程式を利用した文章問題 (整数・年齢算) SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
  - ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

## 【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

①就職試験（SPIなど）対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現在の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

## 【講義概要】

①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語の基礎知識No. 1、数学の基礎計算P. 128～133、文章問題(仕事算)
2	日本語の基礎知識No. 2、数学の基礎計算P. 134～139、文章問題(割合算)
3	日本語の基礎知識No. 3、数学の基礎計算P. 140～145、文章問題(定価算)
4	日本語の基礎知識No. 4、数学の基礎計算P. 146～151、文章問題(速度算)
5	日本語の基礎知識No. 5、数学の基礎計算P. 152～157、文章問題(流水算)
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P. 158～165、文章問題(通過算)
7	中間考査
8	日本語の基礎知識No. 6、数学の基礎計算P. 166～171、式の展開
9	日本語の基礎知識No. 7、数学の基礎計算P. 172～177、因数分解(1)
10	日本語の基礎知識No. 8、数学の基礎計算P. 178～183、因数分解(2)
11	日本語の基礎知識No. 9、数学の基礎計算P. 184～189、平方根
12	日本語の基礎知識No. 10、数学の基礎計算P. 190～195、二次方程式
13	日本語の基礎知識No. 11、数学の基礎計算P. 196～201、n進法
14	日本語の基礎知識No. 12、数学の基礎計算P. 202～209、集合
15	期末考査

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

## 【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	基礎英語 I		Tope Salami	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。

## 【講義概要】

英語母語の講師により実際にパソコンを使ったPythonプログラミング実習を英語で行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標
2	Words and sentences
3	Terminology
4	Writing a program
5	What could possibly go wrong?
6	Variables
7	Variable names and key words
8	Statements
9	Operators and operands
10	Expressions
11	Order of operations
12	Modulus operator
13	String operations
14	Asking the user for input
15	Comments

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	100%					100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

Tope Salami: IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策 I	石井眞木子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。  
また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。

## 【講義概要】

企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。  
また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッションの進め方を学ぶ（価値観のワーク）
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解
3	働くことの意味、社会人との違いの理解
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」
6	お金の話（給与＋残業代）
7	中間試験
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、SEの業務内容の理解
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。

## 【教科書・参考文献】

なし

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	石井眞木子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。

## 【講義概要】

就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。

回	授業計画及び学習の内容
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の見直しを行う
2	履歴書を見直す 「PREP法」を正しく理解する
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理解する
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する
7	中間試験
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う
10	面接試験のロールプレイング その1
11	面接試験のロールプレイング その2
12	企業求人理解 その1. 企業の求人票を確認する
13	企業求人理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。

## 【教科書・参考文献】

就職筆記試験 対策問題集 一般常識・SPI編

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー	今村 朋子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。  
併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しを行う。

## 【講義概要】

授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」
7	中間試験
8	電話の応対① 電話応対の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応
9	電話の応対② 電話応対の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成
10	問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)  
 ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

## 【教科書・参考文献】

「社会でいきる 実践ビジネスマナー」

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	ビジネス検定対策		山際 能理子	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

目標：ビジネス検定3級合格（全員年内合格）  
資格取得に向けて、ビジネスの基本知識を習得し、ビジネスコミュニケーションを実践しながら体得していきます。

## 【講義概要】

授業は基本的には、下記の予定で進行します。期間途中で受験を希望する者は、各自で担任に申し出て受験します。合格後は、出席免除となりますが、必ず合格するためには最低限の知識を学んでからの方が確実です。毎回、復習の確認テストを実施しながら全員合格を目指します。

回	授業計画及び学習の内容
1	キャリアと仕事へのアプローチ
2	仕事の基本となる8つの意識
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本
4	指示の受け方と報告、連絡、相談
5	話し方と聞き方のポイント
6	来客対応と訪問の基本マナー
7	会社関係でのつきあい
8	仕事への取り組み方
9	ビジネス文書の基本
10	電話対応
11	統計、データの読み方、まとめ方
12	情報収集とメディアの活用
13	会社を取り巻く環境と経済の基本
14	過去問題 試験対策
15	まとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%	10%		40%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校や大学では、ビジネスマナー、社会人基礎力、就職対策、キャリアデザイン、プレゼンテーションを担当。企業や官庁において、新入社員から管理職までの研修を担当。著書にサービス接客や説明力がある。

## 【教科書・参考文献】

ビジネス能力検定ジョブパス3級テキスト、及び問題集

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2024		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習 I	情報処理科 担当教員	無	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。  
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
 心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)				100%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】